

海鳥類の繁殖

小笠原諸島では表に示す 14 種の海鳥類の繁殖が確認されている。

表 小笠原で繁殖が確認されている海鳥類(1)

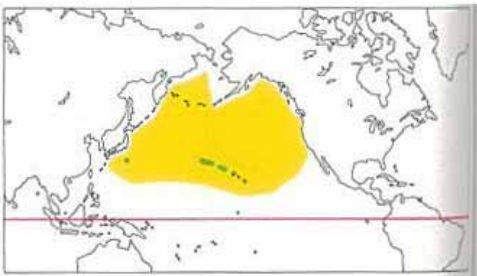
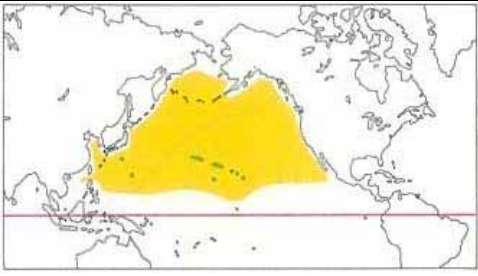
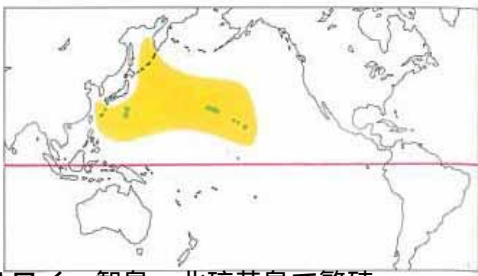
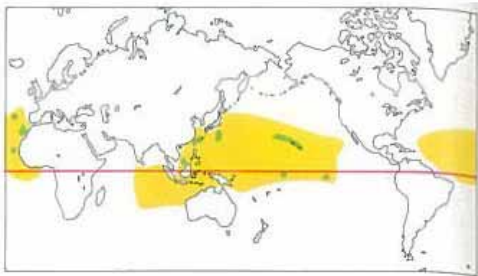
番号	種名(学名)	IUCN Red List	環境省 RDB	繁殖地*3
1	コアホウドリ (<i>Diomedea immutabilis</i>)	VU	EN	 <p>伊豆鳥島、聳島、ハワイ、ミッドウェー</p>
2	クロアシアホウドリ (<i>Diomedea nigripes</i>)	EN		 <p>ハワイ、伊豆鳥島、小笠原諸島、硫黄列島</p>
3	シロハラミズナギドリ (<i>Pterodroma hypoleuca</i>)		DD	 <p>ハワイ、聳島、北硫黄島で繁殖</p>
4	アナドリ (<i>Bulweria bulwerii</i>)			 <p>西之島、硫黄島、ハワイ、フェニックス島、マルケサス、アゾレス、マディラ、サルベージ、カナリー、ケープベルデ</p>

表 小笠原で繁殖が確認されている海鳥類(2)

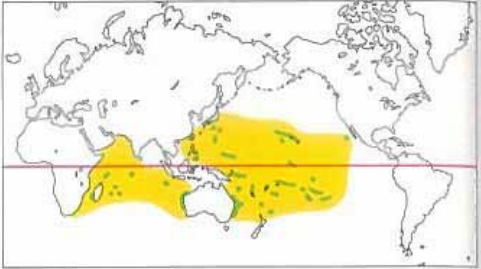
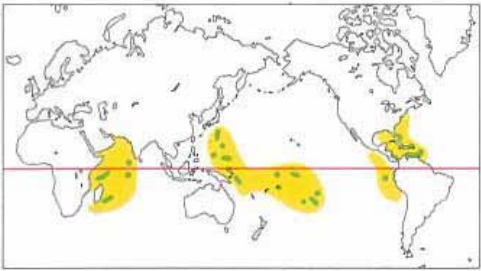
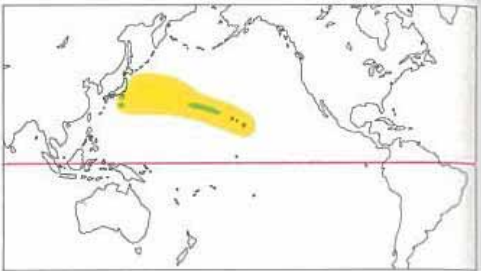
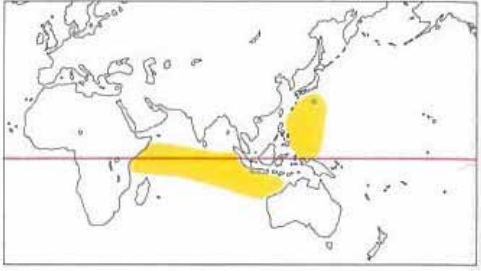
番号	種名(学名)	IUCN Red List	環境省 RDB	繁殖地*3
5	オナガミズナギドリ (<i>Puffinus pacificus</i>)			 <p>太平洋及びインド洋の亜熱帯及び熱帯の島々</p>
6	セグロミズナギドリ (<i>Puffinus lherminieri</i>)		DD	 <p>中央・南西太平洋、インド洋、カリブ海、ガラパゴス諸島。北硫黄島で繁殖。</p>
7	オーストンウミツバメ (<i>Oceanodroma tristrami</i>)	NT	VU	 <p>北硫黄島、伊豆鳥島、ハワイ</p>
8	クロウミツバメ (<i>Oceanodroma matsudairae</i>)	DD	VU	 <p>北硫黄島</p>

表 小笠原で繁殖が確認されている海鳥類(3)

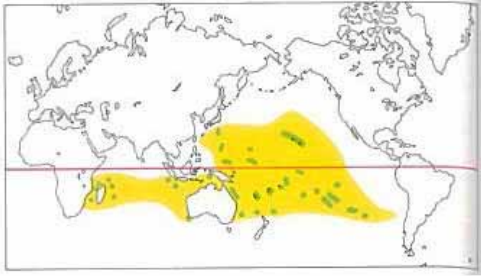
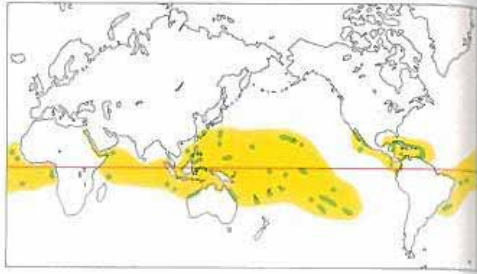
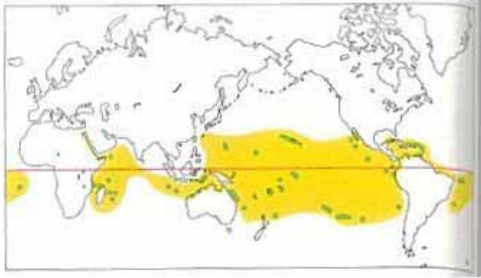
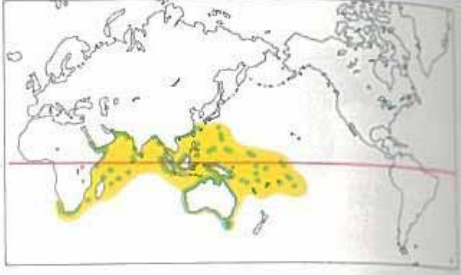
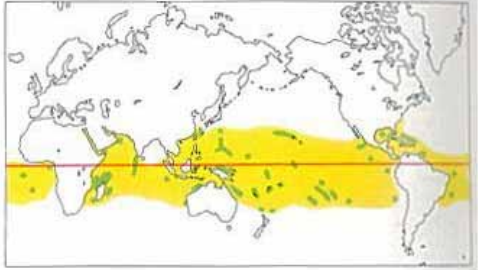
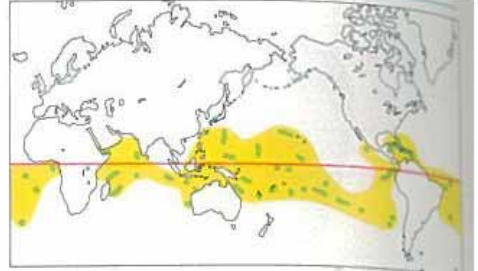
番号	種名(学名)	IUCN Red List	環境省 RDB	繁殖地*3
9	アカオネットタイチョウ (<i>Phaethon rubricauda</i>)		EN	 <p>亜熱帯及び熱帯の島。硫黄列島、南鳥島</p>
10	カツオドリ (<i>Sula leucogaster</i>)			 <p>熱帯及び亜熱帯の島。紅海、インド洋～オーストラリア・Tuamotu 島、日本、小笠原諸島、硫黄列島。</p>
11	アオツラカツオドリ (<i>Sula dactylatra</i>)		VU	 <p>熱帯及び亜熱帯の島。熱帯太平洋から南へはオーストラリア、東へはイースター島。</p>
12	オオアジサシ (<i>Sterna bergii</i>)			 <p>南アフリカやマダガスカルから東へはオーストラリアにかけてのインド洋及び南西太平洋、北へは琉球および小笠原諸島。南中国からオーストラリアやタスマニアやポリネシア、北へは奄美と小笠原諸島。</p>

表 小笠原で繁殖が確認されている海鳥類(4)

番号	種名(学名)	IUCN Red List	環境省 RDB	繁殖地*3
13	セグロアジサシ (<i>Sterna fuscata</i>)			 <p>主に北緯 30° ~ 南緯 34° の熱帯及び亜熱帯太平洋・インド洋・大西洋。紅海、ペルシャ湾、インド洋から大スンダ島、フィリピン、琉球諸島。</p>
14	クロアジサシ (<i>Anous stolidus</i>)			 <p>亜熱帯及び熱帯太平洋・インド洋・大西洋。紅海、インド洋、熱帯及び亜熱帯太平洋から北へは小笠原諸島(母島、西之島)、南へはオーストラリア沖の島)、北硫黄島、南鳥島。</p>

*1 : 出典 長谷川博 (2006)アホウドリ復活への軌跡. Downloaded from <http://www.mnc.toho-u.ac.jp/v-lab/ahoudori/index.html> on 7/3/2006

*2 : 出典 BirdLife International (2005) Species factsheet: *Phoebastria albatrus*. Downloaded from <http://www.birdlife.org> on 7/3/2006

*3 : 図中、青色は繁殖地域、黄色は越冬地域、緑は周年生息している地域を示す(出典:(財)日本鳥類保護連盟(1998)鳥図鑑 630)。繁殖地の文章の出典:日本鳥学会(2000)日本鳥類目録改訂第6版。